

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		キャリアデザインⅡ			
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	×		
対象学科	全科	対象学年	2、3年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	130
授業概要、目的、授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標 (到達目標)	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スタディサプリ、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～6	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る				
7～18	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える				
19～30	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える				
31～40	1年生との交流を図る。				
41～46	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
47～52	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。				
53～64	卒業制作に向けての準備を行う				
65～70	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。				
71～74	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入				
75～78	卒業までの残りを実感し、何をすべきか考える				
79～82	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
83～86	学年イベント（祭事を知る）				
87～90	進級制作リハーサル見学				
91～100	卒業制作に向けての準備を行う				
100～125	年明けのスケジュール確認				
126～128	クラス交流				
129～130	学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲（授業態度）50%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			社会人になるまであと1年もないということを自覚して、後悔のないように1回1回を大切に考えながら進めること。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ビジネス実務Ⅰ			
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	2、3年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1. 社会人・職業人として大切な心構えと習得しておくべき基礎能力を習得する。 2. 過去問題を多用し、試験内容を解く上でのテクニックも学習する。				
学習目標 (到達目標)	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジネス能力検定ジョブパス2級 テキスト・問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	検定取得の意義	ビジネス用語の習得	講義 課題		
3 4	2-1	仕事の進め方	講義 確認問題（問題集にて）		
5 6	2-2	ビジネス文書の基本	講義 確認問題（問題集にて）		
7 8	2-3	統計・データのまとめ方	講義 確認問題（問題集にて）		
9 10	2-4	情報収集とメディアの活用	講義 確認問題（問題集にて）		
11 12	2-5	会社数字の読み方	講義 確認問題（問題集にて）		
13 14	2-6	ビジネスと法律・税金知識	講義 確認問題（問題集にて）		
15 16	2-7	産業と経済の基礎知識	講義 確認問題（問題集にて）		
17 18	過去問題	3-1	小テスト		
19 20	過去問題	3-2	小テスト		
21 22	過去問題	3-3	小テスト		
23 24	過去問題	3-4	小テスト		
25	検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20%					
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			模擬問題を受けた後、出来ていない問題を中心に復習を行うようにすること。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ビジネス実務Ⅱ			
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×		
対象学科	全科	対象学年	卒年次	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	<p>1. 実社会での仕事は、自分自身、社会の人、お客様、取引先といった周囲の人と関わりの中で進んでいることを認識する為、ビジネスマナーを習得する。</p> <p>2. 机上の学習だけでなくロールプレイングを多用し、日常生活でも実践できるよう図る。</p>				
学習目標 (到達目標)	会社組織のしくみと人間関係、来客対応、電話対応、訪問のマナー				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人としての心構え 職場での基本的マナー 職場の人間関係		講義 グループワーク		
2	来客対応：接遇の意義と重要性 受付対応の基本用語 刺の受け取り方		講義 ロールプレイング		
3	案内の要領：廊下 エレベーター 応接		講義 ロールプレイング		
4	お茶の出し方 見送り 応接の管理		講義 小テスト		
5	電話対応：注意点 受け方の基本 電話対応基本用語		講義 ロールプレイング		
6	対応電話：伝言メモの作成 電話のかけ方		講義 ロールプレイング		
7	電話対応テスト		ロールプレイング形式		
8	訪問のマナー：訪問の準備 交通手段に関する知識 接室でのマナー		講義 ロールプレイング		
9	自宅への訪問の心構え テスト準備		講義		
10	まとめテスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
模擬試験70%、学習意欲30%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各自ロールプレイングを何度も行うことで、体得するよう心掛ける。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界セミナー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○		
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	第一線で活躍している業界人からの講演会				
学習目標 (到達目標)	自分の目標を定める。視野を広げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新入生、進級生別自己啓発講演会		プロジェクター、振り返りシート		
2					
3					
4	学科、コース別一流業界人講演会		プロジェクター、振り返りシート		
5					
6					
7	全校統一講演会 未来を考える		プロジェクター、振り返りシート		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲50%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			普段会えない人の話を聴き、視野を広げましょう。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○		
対象学科	全科	対象学年	2・3年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する		個人作業・グループディスカッション		
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう		個人作業・グループディスカッション		
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは		個人作業・グループディスカッション		
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう		個人作業・グループディスカッション		
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース検索のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2 0 1 6 クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2 3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4 5 6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7 8 9	関数 データベース機能		実習		
10 11 12	練習問題 1		実習		
13 14 15	練習問題 2 3		実習		
16 17 18	模擬問題 1 2		実習		
19 20 21	模擬問題 3 4		実習		
22 23 24	模擬問題 5 6		実習		
25 26	模擬問題 7 苦手箇所の練習		実習		
27 28	サンプル問題 事前対策		実習		
29 30	エクセル検定3級受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴					

科目名	卒業制作				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	140
授業概要、目的、授業の進め方	<p>業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。            イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する</p>				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	先輩方の卒業制作を見て、自分たちの姿を想像する				
3～6	自分たちの卒業制作をどうしていくか、一人ひとり考える				
7～10	卒業制作にふさわしいと思うテーマについて、グループに分かれて考える				
11～14	各グループごとに、テーマにふさわしいと思う内容をパワポで発表する。卒業制作のテーマの希望を取る				
15～18	卒業制作のテーマと新グループを発表し、これからのスケジュールを伝える				
19～22	各グループで、テーマに沿った現状や取り組みを調査する				
23～26	各グループで、調査した現状をふまえ、企画を考える				
27～30	第1回 企画発表会+報告書チェック				
31～34	発表内容と報告書の修正				
35～38	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う				
39～42	第2回 企画発表会+報告書チェック				
43～46	発表内容と報告書の修正② 実行委員は招待状+招待客リストアップ、タイトルとロゴ作成				
47～50	中間発表会の準備（台本+パワポ）				
51～54	中間発表会（各グループの発表内容を共有する）				
55～58	年明けのスケジュールや進め方（新グループ、メンバー）を全体で共有する				
59～62	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
63～66	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
67～70	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
71～74	台本+パワポの修正。完成。				
75～78	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
79～84	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）				

85～90	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）	
91～96	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ	
97～102	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）	
103～120	全体リハーサル（本番をイメージしながら）	
120～125	1年生本番→振り返り、修正	
126～131	新入生本番→振り返り、修正	
132～137	企業、保護者本番	
138～140	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
<p>卒制実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。</p>
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。	